

福山市鞆町に江戸時代から伝わる薬味酒「保命酒」。この伝統の酒を混ぜ込んだアマやみそが市内のデパートや駅の土産物コーナーに並んでいる。

やはり長い歴史を持つ名産品・カタクチイワシの削り節を活用したふりかけもある。昔ながらの削り節に、同市内海町産のノリや同市走島町産のチリメンを加えた。

古くからある食材にまったく別の食材を組み合わせるなどし、新しい魅力を引き出した。「仕掛け」をしたのが備後特産品研究会会長の中島さんだ。

「伝統を守ることは大切だが、歴史を重ねるうちに新しい魅力づくりが脇に追いやられる場合もある」

ひらめいたアイデアを接着剤に、それまで縁のなかった業者を結びつけ、新商品をつくり出すにはそれなりの

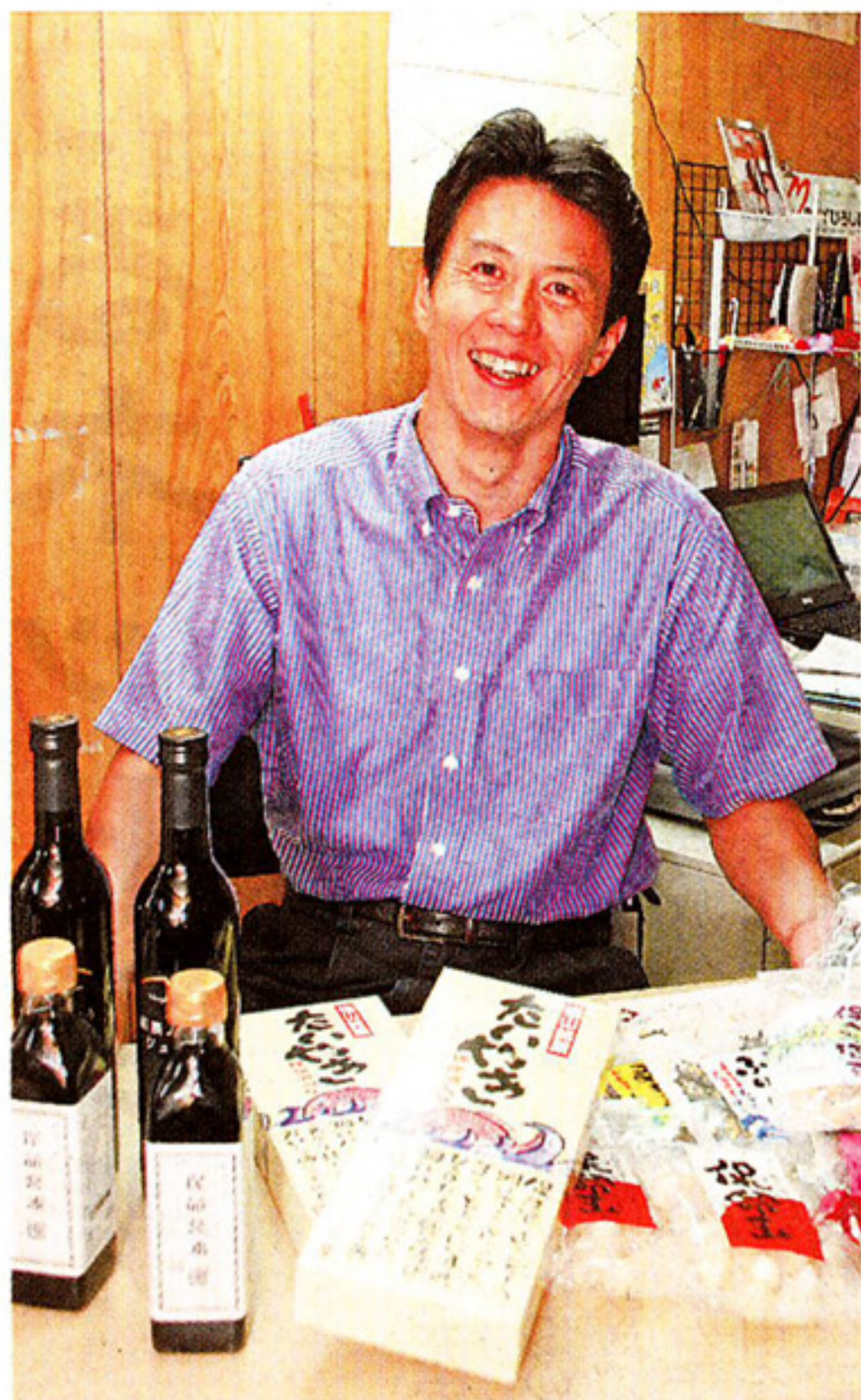
備後特産品研究会会長

中島 基晴さん(43)

=福山市御船町=

か 翔ける

備後・夢追い人



「全国、さらに世界に通じる特産品を開発し、福山を売り込みたい」と話す中島さん＝福山市御船町

伝統産品に新たな魅力

パワーを要した。

明治時代から主に菓子屋に原材料を提供し

てきた食料品卸問屋

「中島商店」の跡継ぎ。

食へのこだわりは強く、大学卒業後、総合

商社の食品部門で働いた。

20代のころ、砂糖や

コーヒの輸出入業務

を担当した。

「生産国の多くが途

上国で、日本の各商社

廿日市市・宮島特産も

ねられたが、情熱で説

はこれ以上ないくらい

値切り倒していた」

この体験から、逆に

みんなが共存共栄しな

る特産品がなく、寂し

かった」とも。

2004年10月、取

引先だった備後地方の

4社で同研究会を立ち

上げた。最初に取り組

んだのが保命酒入りの

菓子。酒の蔵元に「う

ちは保命酒だけ作って

いればいい」と突っぱ

た一品に仕上げた。

地産地消ブームで、

最近では食品以外も

手掛けている。例えば

キーホルダー。福山市

みじ饅頭まんじゅうだった。

「福山をPRし、名

刺代わりになってくれ

る特産品がなく、寂し

かった」とも。

2004年10月、取

引先だった備後地方の

4社で同研究会を立ち

上げた。最初に取り組

んだのが保命酒入りの

菓子。酒の蔵元に「う

ちは保命酒だけ作って

いればいい」と突っぱ

た一品に仕上げた。

地産地消ブームで、

最近では食品以外も

手掛けている。例えば

キーホルダー。福山市

に考える。

「地方の香りを感じ

させ、出身者は故郷を

懐かしむ。全国で福山

に関する会話が弾むよ

うになれば。商品はそ

うのためのツール」

さらに海外も視野に

入れる。7月末には福

山商工会議所ととも

に福山市の親善友好都

市・韓国の浦項市を訪

問、特産品を販売した。

浦項市民の反応に手応

得し、仲間に入っても

者や生産者がもうから

ない。地域経済の活性

化に役立たない」。い

らった。

最近では食品以外も

手掛けている。例えば

キーホルダー。福山市

に考える。

「地方の香りを感じ

させ、出身者は故郷を

懐かしむ。全国で福山

に関する会話が弾むよ

うになれば。商品はそ

うのためのツール」

さらに海外も視野に

入れる。7月末には福

山商工会議所ととも

に福山市の親善友好都

市・韓国の浦項市を訪

問、特産品を販売した。

浦項市民の反応に手応

えを感じたという。

「新しく生み出した

商品が世界に通じるブ

ランドになってくれれ

ば最高」。夢は大きく

広がる。(小泉潮)

「量販店に出すと値

切られてしまい、製造

＝おわり＝

第2部「育む」

はくく